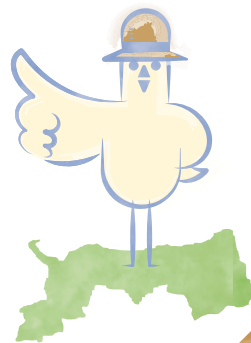


とつとりを愛し、とつとりに集う人

とつとり地域おこし協力隊



青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々ー鳥取県は豊かな自然に囲まれ、二十世紀梨をはじめ、数々の農産物が生産され、新鮮な海の幸が水揚げされる食のみやこです。県内各地で天の川が見え、流れ星も見やすく、美しい星空を持つ「星取県」としても有名です。

一方で、鳥取県は日本で一番人口の少ない県でもあります。少子化や高齢化などの進行が著しい地方において、地域の人材不足や後継者不足により懸念となっている取組みを、様々な活動を通じて地域に貢献している人たちがいます。とつとりを愛し、とつとりに集う人、鳥取県内で活躍するとつとり地域おこし協力隊たちをご紹介します。



Contents

02 地域おこし協力隊制度

とつとり地域おこし協力隊活動紹介

04 岩美町ー横山 貴俊さん

05 岩美町ー笹井 大作さん

06 若桜町ー藤原 啓司さん

07 琴浦町ー高橋 太雅さん

08 琴浦町ー松尾 匠真さん

09 琴浦町ー久和 温実さん

10 米子市ー高重 祐樹さん

11 江府町ー松本 良史さん

12 鳥取県によるサポート体制

14 とつとり地域おこし協力隊募集

15 データで見るとつとりの魅力!



地域おこし協力隊制度とは

「都会を離れて暮らしたい」「地域おこしに関わりたい」ー地域おこし協力隊はおおむね1年以上3年以下の期間、都市部の人材を地域社会の新たな人材として受け入れ、地域力の充実・強化を図る取組みです。

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を、地方自治体が「地域おこし協力隊員」として委嘱します。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を検討する取組みです。